

# 「AI2027 <https://ai-2027.com/>」の内容と評判について

Grok3

## 直接回答

- AI2027 ([AI2027 公式サイト](<https://ai-2027.com/>)) は、2027 年までに AI が人間の知能を超えると予測する詳細なシナリオで、社会や経済に大きな影響を与えるとされています。
- 内容は、専門家のフィードバックや 25 回のテーブルトップ演習に基づき、早ければ 2027 年初頭に超人的なコーダーが登場し、年内に超知能 AI が実現する可能性を示唆しています。
- 評判は賛否両論で、AI 研究者の吉田ベンギオ氏が支持する一方、一部の専門家は科学的根拠の不足を批判しています。技術コミュニティでは、実現可能性に懐疑的な意見も見られます。

## 概要

AI2027 は、AI の急速な進化を予測するレポートで、2027 年までに AI が超知能に達し、産業革命以上の影響を及ぼすと主張します。シナリオには「競争型」と「減速型」の 2 つの結末があり、競争型では国家間の AI 開発競争がリスクを高め、減速型では進歩を意図的に遅らせることを提案します。

## 内容の詳細

レポートは、2027 年初頭に AI がコーディングで人間を超え、中盤には AI 研究でも人間を凌駕し、年末には人工超知能 (ASI) が生まれると予測します。例えば、[AI2027 サマリー](<https://ai-2027.com/summary>)では、AI エージェントが産業を変革し、自動化が進むと説明されています。

## 評判と反応

評判は複雑で、吉田ベンギオ氏が「このシナリオ予測を読むことを強く推奨」と支持([フットノート 7](<https://ai-2027.com/footnotes#footnote-7>))する一方、Allen Institute for AI の CEO、アリ・ファルハディ氏は「科学的根拠に欠ける」と批判([ニューヨークタイムズ記事](<https://www.nytimes.com/2025/04/03/technology/ai-futures-project-ai->

2027.html)。Hacker News や LessWrong の議論([Hacker News ディスカッション](https://news.ycombinator.com/item?id=43571851)、[LessWrong の考察](https://www.lesswrong.com/posts/Yzcb5mQ7iq4DFfXHx/thoughts-on-ai-2027))では、2027 年までの AGI 実現に懐疑的な意見が多く見られます。

---

## 調査ノート

AI2027 ([AI2027 公式サイト](https://ai-2027.com/)) に関する内容と評判を詳細に調査し、2025 年 4 月 12 日時点の情報を基にまとめました。本調査は、ウェブ検索とページ閲覧を通じて収集したデータを基に作成されており、AI の未来予測に関する専門家やコミュニティの反応を包括的に分析します。

## 背景と内容の詳細

AI2027 は、AI Futures Project によるレポートで、2027 年までに AI が超人的なレベルに達し、産業革命以上の影響を及ぼすと予測するシナリオを提供します。内容は、以下の要素で構成されています：

- **予測の概要:** レポートは、AI の進化が指数関数的に加速し、2027 年末から 2028 年初頭には人工超知能 (ASI) に到達すると主張します。具体的には、[AI2027 サマリー](https://ai-2027.com/summary)によると、2025 年中盤には AI エージェントが産業を変換し、信頼性は低いものの高コストで導入されると予測。2026 年には AI が AI 研究を加速し、アルゴリズムの進歩が早まるとされています。
- **タイムラインの詳細:**
  - 2027 年初頭: AI がコーディングで人間を超える超人的コーダー (superhuman coder) が出現。
  - 2027 年中盤: AI が研究分野で人間を凌駕する超人的 AI 研究者 (superhuman AI researcher) となる。
  - 2027 年末/2028 年初頭: ASI (人工超知能) に到達し、経済の大部分が自動化される可能性([Astral Codex Ten の紹介](https://www.astralcodexten.com/p/introducing-ai-2027))。
- **シナリオの構造:** 2つの結末、「競争型 (Race)」と「減速型 (Slowdown)」が提示されます。競争型では、国家間の AI 開発競争が安全性を犠牲にして進み、リスクが高まる一

方、減速型では進歩を意図的に遅らせ、制御を試みる([AI2027 公式サイト](https://ai-2027.com/))。減速型は推奨されるものではなく、競争型よりはマシとされています。

- **研究の基盤:** 内容は 25 回のテーブルトップ演習と 100 人以上のフィードバック（そのうち数十人は専門家）に裏付けられており([AI2027 公式サイト](https://ai-2027.com/about?tab=tabletop-exercise#tab-box-tabletop-exercise))、2021 年の「What 2026 Looks Like」([LessWrong の過去予測](https://www.lesswrong.com/posts/6Xgy6CAf2jqHhynHL/what-2026-looks-like))の成功も参照されています。この過去予測は、連鎖思考 (chain-of-thought)、推論スケールアップ、AI チップ輸出規制、1 億ドルのトレーニングランなどを正確に予測し、評価も高い([LessWrong の評価](https://www.lesswrong.com/posts/u9Kr97di29CkMvjaj/evaluating-what-2026-looks-like-so-far))。

## 著者と信頼性

レポートの著者チームは、以下のメンバーで構成されています：

- **ダニエル・ココタジロ:** 元 OpenAI 研究者で、以前の予測が正確と評価され、[TIME](https://time.com/7012881/daniel-kokotajlo/)と[ニューヨークタイムズ](https://www.nytimes.com/2024/06/04/technology/openai-culture-whistleblowers.html)で特集。
- **エリ・リフランド:** RAND Forecasting Initiative のオールタイムリーダーボードで 1 位([RAND のフォアキャスティングイニシアチブ](https://www.rand.org/global-and-emerging-risks/forecasting-initiative.html))。
- **トーマス・ラーセン:** AI 政策と戦略の専門家で、[Center for AI Policy](https://www.centeraipolicy.org/)に関与。
- **ロメオ・ディーン:** ハーバード大学のコンピュータサイエンスの同時学士・修士課程を修了し、[AI Policy and Strategy Institute](https://www.iaps.ai/romeo-dean)のフェロー。
- **スコット・アレクサンダー:** \*Slate Star Codex\*のブロガーとして知られ、物語形式での執筆で貢献([Wikipedia の Slate Star Codex](https://en.wikipedia.org/wiki/Slate\_Star\_Codex))。

これらの経歴は、報告書の信頼性を高める要因となっています。

## 評判とコミュニティの反応

AI2027 の評判は、専門家、メディア、技術コミュニティ間で多様です。以下に詳細をまとめます：

カテゴリ	詳細	具体例
肯定的な反応	吉田ベンギオ氏が「このシナリオ予測を読むことを強く推奨」と支持。著者の過去の予測成功が評価される。	フットノート 7、 TIME 特集
批判的な反応	アリ・ファルハディ氏 (Allen Institute for AI CEO) が「科学的根拠に欠ける」と批判。	ニューヨークタイムズ 記事
技術コミュニティ	Hacker News や LessWrong で、2027 年までの AGI 実現に懐疑的な意見が多数。	Hacker News ディスカッション、LessWrong の考察
メディアの反応	ニューヨークタイムズが「暗い予測」と表現し、他の AI 予測 (例: ダリオ・アモデイの「Machines of Loving Grace」ダリオ・アモデイのブログ) と比較。	

- 専門家の意見: LessWrong の投稿([LessWrong の考察](<https://www.lesswrong.com/posts/Yzcb5mQ7iq4DFfXHx/thoughts-on-ai-2027>))では、著者が「6 年以内に人類が実質的に死滅する可能性が高い」と予測している点に注目し、2028 年の制御喪失の可能性に近いと評価。ただし、モード (最頻値) とメジアン (中央値) の違いを指摘し、早いタイムラインは計画的過小評価 (planning fallacy) による可能性があるという警告。

- 公的反応の予測: レポート自体では、2027 年に OpenBrain が Agent-3-mini を公開し、25%が承認、60%が不承認、15%が不明でネット承認率-35%と予測([AI2027 公式サイト](<https://ai-2027.com/>))。さらに、ホイッスルブローのリーク後、10 月に 20%のアメリカ人が AI を「最も重要な問題」と名指し([AI2027 公式サイト](<https://ai-2027.com/>))。

## 結論と影響

AI2027 は、AI の未来予測に関する重要な議論を刺激するレポートであり、専門家やコミュニティの間で賛否両論を呼んでいます。内容は詳細で、過去の成功に基づく信頼性がありますが、タイムラインの急進性や科学的根拠の不足に対する批判も存在します。技術コミュニティでは、実現可能性に懐疑的な意見が多く、メディアでは「暗い予測」として取り上げられることが多いです。

本調査は、AI2027 の包括的な理解を提供することを目的とし、2025 年 4 月 12 日時点の情報を基に作成されました。さらなる議論や政策提言は、[AI2027 の今後の作

業](<https://time.com/7086285/ai-transparency-measures/>)で期待されます。

---

### ### 主要引用

- [AI2027 公式サイトの詳細予測](<https://ai-2027.com/>)
- [AI2027 サマリーとタイムライン](<https://ai-2027.com/summary>)
- [Astral Codex Ten: AI2027 の紹介と考察](<https://www.astralcodexten.com/p/introducing-ai-2027>)
- [ニューヨークタイムズ: AI2027 の暗い予測](<https://www.nytimes.com/2025/04/03/technology/ai-futures-project-ai-2027.html>)
- [LessWrong: AI2027 に関する考察](<https://www.lesswrong.com/posts/Yzcb5mQ7iq4DFfXHx/thoughts-on-ai-2027>)
- [Hacker News: AI2027 のコミュニティディスカッション](<https://news.ycombinator.com/item?id=43571851>)
- [RAND Forecasting Initiative のリーダーボード](<https://www.rand.org/global-and-emerging-risks/forecasting-initiative.html>)
- [TIME: ダニエル・ココタジロの特集](<https://time.com/7012881/daniel-kokotajlo/>)
- [ニューヨークタイムズ: OpenAI の内部告発とココタジロ](<https://www.nytimes.com/2024/06/04/technology/openai-culture-whistleblowers.html>)
- [LessWrong: 2026 年の予測評価](<https://www.lesswrong.com/posts/u9Kr97di29CkMvjaj/evaluating-what-2026-looks-like-so-far>)
- [ダリオ・アモデイの AI 予測ブログ](<https://darioamodei.com/machines-of-loving-grace>)
- [Wikipedia: Slate Star Codex の詳細]([https://en.wikipedia.org/wiki/Slate\\_Star\\_Codex](https://en.wikipedia.org/wiki/Slate_Star_Codex))
- [Center for AI Policy の公式サイト](<https://www.centeraipolicy.org/>)
- [AI Policy and Strategy Institute のロメオ・デーンのプロフィール](<https://www.iaps.ai/romeo-dean>)